



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社 豊田自動織機 上場取引所 東・大・名
 コード番号 6201 URL <http://www.toyota-shokki.co.jp/>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)豊田 鐵郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員経理部長 (氏名)小河 俊文 TEL (0566) 22-2511
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|--------|---|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第1四半期 | 359,194 | 24.4 | 16,012 | — | 19,270 | — | 12,964 | — |
| 22年3月期第1四半期 | 288,781 | △38.4 | △9,587 | — | △2,118 | — | △114 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 41.61 | — |
| 22年3月期第1四半期 | △0.37 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-----------|-----------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 2,378,087 | 984,610 | 39.4 | 3,008.52 |
| 22年3月期 | 2,589,246 | 1,104,929 | 40.8 | 3,390.02 |

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 937,365百万円 22年3月期 1,056,230百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 10.00 | — | 20.00 | 30.00 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-----------|------|--------|-------|--------|-------|--------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 740,000 | 17.9 | 30,000 | — | 32,000 | 650.2 | 19,000 | — | 60.98 |
| 通期 | 1,450,000 | 5.2 | 55,000 | 150.0 | 60,000 | 88.9 | 33,000 | — | 105.92 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、添付資料 3ページから4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 社 () 除外 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 23年3月期1Q | 325,840,640株 | 22年3月期 | 325,840,640株 |
| 23年3月期1Q | 14,270,536株 | 22年3月期 | 14,269,943株 |
| 23年3月期1Q | 311,570,179株 | 22年3月期1Q | 311,575,869株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

- ・業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に関わるリスクや不確実性により、予想と大きく異なる可能性があります。
- ・為替レートにつきましては、第2四半期以降、1USドル90円、1ユーロ110円を前提としております。
- ・業績予想に関する事項は、添付資料 3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」および本日（平成22年7月30日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(添付資料)

目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から6月30日までの3ヵ月間)の経済情勢を概観しますと、世界経済は、各国政府による景気刺激策の効果もあり、中国・インドをはじめとしたアジア各国での景気回復の動きに加え、米国での緩やかな回復や欧州での下げ止まりの動きが見られるなど、景気は総じて緩やかに回復してまいりました。国内におきましても、依然として雇用情勢に厳しさが残りますものの、企業収益の改善が続く中、民間設備投資の下げ止まりに加え、個人消費も持ち直すなど、景気は着実に持ち直してまいりました。こうしたなかで、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を704億円(24%)上回る3,591億円となりました。

これをセグメントについてみますと、自動車部門におきましては、売上高は前年同期を548億円(37%)上回る2,017億円となりました。

このうち車両につきましては、RAV4・マークXジオは前年同期並みにとどまりましたが、ヴィッツの増加により、売上高は前年同期を205億円(28%)上回る946億円となりました。

エンジンにつきましては、KD型ディーゼルエンジンやAR型ガソリンエンジンなどが増加したことにより、売上高は前年同期を187億円(64%)上回る478億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、国内・海外向けともに増加したことにより、売上高は前年同期を123億円(33%)上回る490億円となりました。

産業車両部門におきましては、主力のフォークリフトトラックが国内・海外向けともに増加したことにより、売上高は前年同期を102億円(10%)上回る1,137億円となりました。

物流部門におきましては、主に自動車関連部品の運送事業が増加したことにより、売上高は前年同期を5億円(2%)上回る272億円となりました。

繊維機械部門におきましては、主にエアジェット織機が中国向けで増加したことにより、売上高は前年同期を52億円(219%)上回る75億円となりました。

利益につきましては、営業外収支の減少、人件費の増加、原材料の値上がりはありましたものの、売上げの増加に加え、スリム化した会社の構えを維持したことにより、営業利益は160億円(前年同期は95億円の営業損失)、経常利益は192億円(前年同期は21億円の経常損失)、四半期純利益は129億円(前年同期は1億円の四半期純損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、主に投資有価証券の時価評価額の減少により前期末に比べ2,112億円減少し、2兆3,780億円となりました。また、純資産につきましても前期末に比べ1,203億円減少し、9,846億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済の見通しにつきましては、緩やかな回復が続くものと見込まれますが、一方では、金融や雇用情勢の悪化に加え、自動車買い替え支援策の反動、鉄鉱石や原油をはじめとした原材料価格の高騰などが懸念され、さらに、為替相場、株式市場の動向や米国経済の先行きなど、不透明な要因も多く、企業を取り巻く環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績に加え、産業車両部門における販売台数の増加や原価低減活動への取り組みなどにより、連結売上高 1兆4,500億円、営業利益 550億円、経常利益 600億円、当期純利益 330億円に修正しております。

なお、為替レートにつきましては、第2四半期以降、1USドル90円、1ユーロ110円を前提としております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）を適用し、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 267,362 | 287,965 |
| 受取手形及び売掛金 | 153,997 | 163,708 |
| 有価証券 | 119,901 | 71,391 |
| 商品及び製品 | 34,778 | 37,358 |
| 仕掛品 | 26,324 | 25,672 |
| 原材料及び貯蔵品 | 24,922 | 25,318 |
| 繰延税金資産 | 20,705 | 17,182 |
| その他 | 40,844 | 47,307 |
| 貸倒引当金 | △2,954 | △3,103 |
| 流動資産合計 | 685,883 | 672,801 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 166,477 | 169,991 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 195,749 | 212,079 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 21,609 | 21,840 |
| 土地 | 119,173 | 119,517 |
| 建設仮勘定 | 8,766 | 8,547 |
| 有形固定資産合計 | 511,775 | 531,977 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 69,492 | 72,745 |
| ソフトウェア | 9,718 | 9,976 |
| 無形固定資産合計 | 79,210 | 82,722 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 974,813 | 1,162,685 |
| 長期貸付金 | 5,446 | 5,554 |
| 繰延税金資産 | 9,241 | 10,429 |
| その他 | 111,913 | 123,278 |
| 貸倒引当金 | △197 | △202 |
| 投資その他の資産合計 | 1,101,217 | 1,301,744 |
| 固定資産合計 | 1,692,204 | 1,916,444 |
| 資産合計 | 2,378,087 | 2,589,246 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 138,452 | 141,787 |
| 短期借入金 | 50,793 | 46,241 |
| コマーシャル・ペーパー | 12,211 | 9,575 |
| 1年内償還予定の社債 | 49,933 | 50,446 |
| 未払金 | 11,466 | 13,149 |
| 未払法人税等 | 11,597 | 15,014 |
| 繰延税金負債 | 272 | 316 |
| 役員賞与引当金 | 130 | 310 |
| その他 | 178,532 | 158,100 |
| 流動負債合計 | 453,390 | 434,941 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 236,757 | 231,401 |
| 長期借入金 | 285,665 | 299,208 |
| リース債務 | 83,032 | 108,014 |
| 繰延税金負債 | 275,670 | 351,009 |
| 退職給付引当金 | 44,398 | 45,234 |
| その他 | 14,562 | 14,507 |
| 固定負債合計 | 940,086 | 1,049,375 |
| 負債合計 | 1,393,477 | 1,484,316 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 80,462 | 80,462 |
| 資本剰余金 | 106,179 | 106,179 |
| 利益剰余金 | 385,380 | 378,648 |
| 自己株式 | △50,690 | △50,689 |
| 株主資本合計 | 521,332 | 514,601 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 431,265 | 544,068 |
| 繰延ヘッジ損益 | 21 | △9 |
| 為替換算調整勘定 | △15,253 | △2,430 |
| 評価・換算差額等合計 | 416,033 | 541,628 |
| 新株予約権 | 1,847 | 1,720 |
| 少数株主持分 | 45,396 | 46,978 |
| 純資産合計 | 984,610 | 1,104,929 |
| 負債純資産合計 | 2,378,087 | 2,589,246 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 288,781 | 359,194 |
| 売上原価 | 258,798 | 303,956 |
| 売上総利益 | 29,982 | 55,237 |
| 販売費及び一般管理費 | 39,570 | 39,225 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △9,587 | 16,012 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,783 | 2,399 |
| 受取配当金 | 9,085 | 7,479 |
| その他 | 2,330 | 1,198 |
| 営業外収益合計 | 14,199 | 11,076 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,653 | 4,217 |
| その他 | 2,077 | 3,601 |
| 営業外費用合計 | 6,730 | 7,819 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △2,118 | 19,270 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △2,118 | 19,270 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 686 | 9,631 |
| 法人税等調整額 | △2,593 | △3,212 |
| 法人税等合計 | △1,907 | 6,418 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 12,851 |
| 少数株主損失(△) | △96 | △112 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △114 | 12,964 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間において、6,231百万円の剰余金の配当を行っております。

(5) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

| | 自動車 | 産業車両 | 物流 | 繊維機械 | その他 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|---------------------------|---------|---------|--------|-------|--------|---------|------------|---------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 146,985 | 103,531 | 26,722 | 2,363 | 9,179 | 288,781 | — | 288,781 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,175 | 198 | 1,188 | 17 | 2,918 | 6,498 | △6,498 | — |
| 計 | 149,160 | 103,729 | 27,910 | 2,380 | 12,098 | 295,279 | △6,498 | 288,781 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △4,941 | △5,159 | 684 | △904 | 575 | △9,744 | 157 | △9,587 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

| | 自動車 | 産業車両 | 物流 | 繊維機械 | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|---------|--------|-------|--------|---------|--------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 201,719 | 113,795 | 27,211 | 7,543 | 8,924 | 359,194 | — | 359,194 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,753 | 216 | 1,399 | 0 | 1,976 | 8,346 | △8,346 | — |
| 計 | 206,472 | 114,011 | 28,611 | 7,543 | 10,901 | 367,540 | △8,346 | 359,194 |
| セグメント利益 | 9,227 | 4,349 | 1,224 | 220 | 858 | 15,880 | 131 | 16,012 |

- (注) 1 各報告セグメントおよび「その他」の区分に属する製品およびサービスの種類
自動車 …………… 車両、エンジン、カーエアコン用コンプレッサー、鋳造品、電子機器
産業車両 …………… フォークリフト、ウェアハウス用機器、自動倉庫、高所作業車
物流 …………… 陸上運送サービス、集配金・売上金管理サービス、情報保管管理・集配サービス
繊維機械 …………… 織機、紡機
その他 …………… 半導体パッケージ基板
2 セグメント利益の調整額131百万円は、セグメント間取引消去であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。